

**当院でマンモグラフィ及び針生検を施行された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名：マンモグラフィにおける Radiomics 特徴を用いた悪性腫瘍分別の開発

研究機関名：NTT 東日本札幌病院

研究責任者：川原 大典 (所属 放射線技術室)

研究の目的：本研究の目的は、乳房画像から抽出したラジオミクス特徴量を用いて、乳腺病変の良性・悪性を分類する機械学習モデルを構築し、その有用性を評価することである。乳がんの診断において、マンモグラフィは初期評価に広く用いられており、悪性が疑われる場合には針生検などによる病理組織学的検査が行われ、確定診断に至る。一方で、マンモグラフィによる画像評価は、読影者の経験や主観的判断に依存する部分があり、画像から得られる情報を十分に活用できていない可能性がある。

そこで本研究では、マンモグラフィ画像に **Radiomics** (ラジオミクス) と呼ばれる高度な画像解析手法を適用し、腫瘍の形状、濃度、テクスチャなど、従来の視覚的評価では捉えにくい画像上の特徴を定量化する。これらの特徴量を用いて機械学習による分類を行うことで、乳腺病変が良性または悪性であることを客観的に評価する新たな手法について検討する。

本研究を通して、マンモグラフィ単体から得られる画像情報をより有効に活用し、初期評価における悪性腫瘍の判別精度向上に寄与することを目指す。さらに、乳がんの早期発見・早期治療につながる画像診断支援手法の確立に向けた基礎的知見を得ることを目的とする。

対象となる患者さん：NTT 東日本札幌病院で 2016 年 1 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の期間にマンモグラフィ及び針生検を受けられた方。

利用するカルテ情報：診断名、年齢、性別、病歴、検査結果(画像検査・針生検)

実施予定期間：実施許可日～2027 年 12 月 31 日

この研究に関する情報の提供について：この研究に関して、研究計画や関係する資料についてお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

個人情報の取り扱い：利用する情報からは、個人を直接同定できる個人情報は削除します。また、研究以外の目的で使用することはありません。研究成果は学会や学術雑誌に発表されることがありますが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。

【問い合わせ先】

研究責任者 川原 大典

〒060-0061 札幌市中央区南 1 条西 15 丁目

NTT 東日本札幌病院 放射線技術室

電話 011-623-7000（代表）